

## 資料 2 射水市民病院に「DHセンター」を開設します (鼠径部ヘルニア(脱腸=D)・日帰り手術(H)センター)

「DHセンター」では、4月から鼠径部ヘルニア(いわゆる脱腸)患者様に対して、これまでの宿泊入院治療から、県内では数少ない日帰り手術に対応した治療を行います。日帰り手術の万全な体制を整え、患者様が躊躇せず治療できるよう、全力でサポートします。

### 1 DHセンターの目的

鼠径部ヘルニア患者は年間推定約30万人とも言われていますが、手術件数は半数の約15万件で、多くの鼠径部ヘルニアが放置されていると考えられます。当センターでは、早期に治療していただけるよう情報発信するとともに、安心して気軽に治療が受けられるような体制を整えていきます。

また、高齢者はもちろん、働き盛りの忙しい患者様にも気軽に治療が受けられるよう、日帰り手術を含めた最適な治療方法を提案していきます。

### 2 DHセンターの特徴

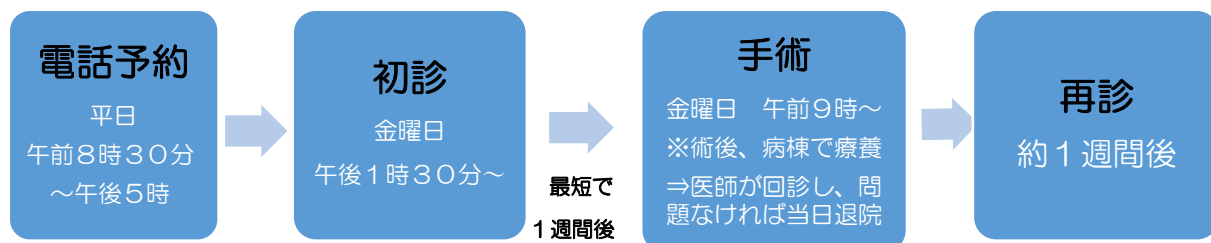
#### (1) 日帰り手術に対応

拘束時間が大幅に短くなり、生活リズムを大きく変えることなく、治療を受けられます。また、宿泊入院治療よりも治療費を安く抑えられるため、経済的負担が軽減されます。

#### (2) 総合病院の安心感

手術が大掛かりになった場合や術後の経過が思わしくない場合でも、当院で入院治療を継続できるため、安心して手術を受けられます。

### 3 DHセンターの概要



#### ※ 鼠径部ヘルニア(脱腸)について

鼠径部ヘルニアとは下腹部の左右どちらか、または両方がポコッと膨らんだ病気です。自然には治らず放置すれば歩行障害・排尿障害、ひいては腸がはまり、血液が行かなくなり、重症化することがあり、手術が必要と言われています。

